

<調査対象>

◎調査期間：令和2年9月下旬～令和2年10月上旬
 ◎調査対象：当会情報連絡員（業界組合）58団体

（ 回答 51団体 ・製造業：31団体中26団体
 ・非製造業：27団体中25団体 ）

<結果のポイント>

(1) BCP（事業継続計画）の対応について

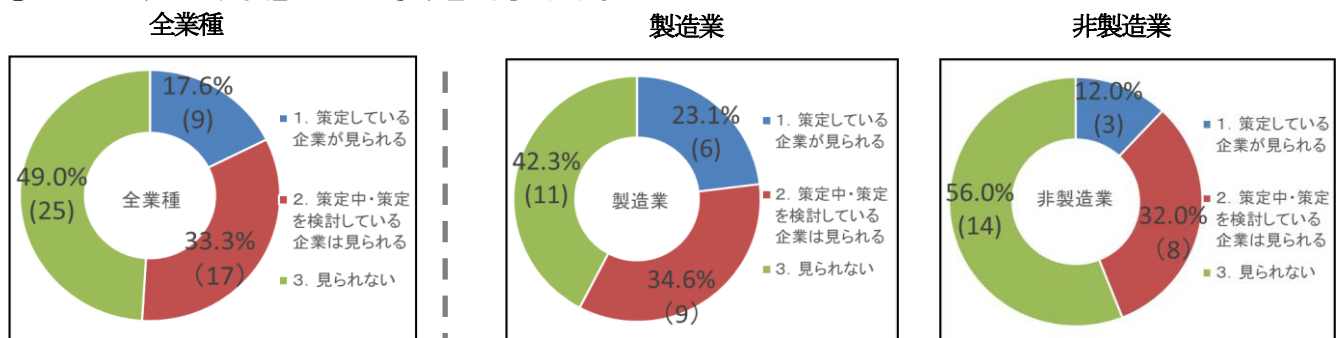
近年、全国各地において頻発する地震や記録的な豪雨等の大規模な自然災害が発生していることに加え、今年は新型コロナウイルスの感染拡大もあり、BCP（事業継続計画）策定の重要性は高まってきていると思われる。そこで、県内の中小企業者におけるBCP策定状況を把握するため、業界組合に聞いてみたところ、次の通りであった。

○全業種では、BCPの策定に取り組んでいる事業所が見られるかの問いに「見られない」との回答が49.0%であったが、「策定中・策定を検討している企業が見られる」（33.3%）と「策定している企業が見られる」（17.6%）の合計は50.9%となり、**策定に取り組んでいる企業は過半数に達した**。昨年の同様の調査では、「見られない」（60.0%）、「策定中・策定を検討している企業が見られる」（32.0%）、「策定している企業が見られる」（8.0%）であったことを鑑みると、**BCPへの対応が進んだ**と言える。業種別で見ると、製造業では「見られない」が42.3%であり、「策定している企業が見られる」（23.1%）と「策定中・策定を検討している企業が見られる」（34.6%）の合計が57.7%と策定に取り組んでいる企業が多い結果となった。非製造業は「見られない」が56.0%で、「策定している企業が見られる」（12.0%）と「策定中・策定を検討している企業が見られる」（32.0%）を合わせても「見られない」のほうが多く、**製造業と非製造業で対応に差が見られた**。「見られる」と回答した企業の想定しているリスクの問いに、**地震・台風などの自然災害**との回答が**最も多く**、次いで、**サーバー等情報システムの停止**や**物流網崩壊による仕入品の欠品**などの回答が多かった。BCPを策定していない理由としては、**BCPに対する現場の意識が低い**との回答が**最も多く**、次いで、**策定に必要なスキル・ノウハウがない**、**必要性を感じない**などの回答が続いた。**BCP策定の意識は高まっている一方で、中小企業においてはまだまだ現場の意識が低く、策定にあたっての課題も多い**ことが分かった。

(2) 業種別詳細

○製造業においては、「見られる」と回答したのは、**一般機械器具製造業、鉄鋼・金属製品製造業、プラスチック製品製造業、出版・印刷業**などの業種の一部であった。また、想定しているリスクについては、**新型コロナウイルス等の感染症、サーバー等情報システムの停止、失火など内的要因による火災**の回答が非製造業に比べ多かった。
 ○非製造業においては、「見られる」と回答したのは、**旅館・ホテル業、商店街、水産物卸・小売業、燃油小売業、各種の卸売業、総合工事業、管工事業**などの業種の一部であった。また、想定しているリスクについては、**通信（インターネット・電話）の途絶**の回答が製造業に比べやや多い結果であった。

①BCPの策定に取り組んでいる事業者は見られますか？



② 「1. 策定している」、「2. 策定中・策定を検討」と回答した想定しているリスク（※複数回答）

③ BCPを策定していない理由（課題）（※複数回答）

製造業

非製造業

製造業

非製造業

リスク	製造業	非製造業	理由	製造業	非製造業
地震・台風などの自然災害	11	9	BCPに対する現場の意識が低い	7	9
新型コロナウイルス等の感染症	9	6	策定に必要なスキル・ノウハウがない	5	8
サーバー等情報システムの停止	8	5	必要性を感じない	3	5
物流網崩壊による仕入品の欠品	7	4	策定する人材を確保できない	2	3
取引先企業の倒産・事業中断	5	4	策定や対策する費用がない	2	3
インフラ（電力等）の途絶	5	4	相談窓口が分からない	2	2
失火など内的要因による火災	5	2	策定する時間を確保できない	0	1
通信（インターネット・電話）の途絶	4	1	その他	0	1
その他	0	0			